

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議
					子どもセンター 建設水道課 子育て支援班

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">会 議</span> <del>— 打合せ —</del> <del>協 議</del>	文書番号	上富子育第 1503 号
		決裁期日	令和4年3月9日
名 称	第8回上富良野町新子どもセンター建設検討委員会		
日 時	令和4年3月7日（月） 13:00 ~ 14:00		
場 所	保健福祉総合センター 2階 研修室		
出 席 者	別紙名簿のとおり（委員 13名、事務局 3名）、建築設計事務所 3名 各事務担当者（主査2名、主事1名）、傍聴者 2名 計 24名		
内 容	<p>開会</p> <p>1. 町長挨拶</p> <p>足元の悪い中、お集まりいただき感謝申し上げます。8回目ということで、この短期間に112項目の審議をいただき、皆様にはご尽力いただいたことに対しても感謝を申し上げます。</p> <p>町長就任時、子どもセンターは移転に伴い機能が分散するところから始まったが、機能は一元化するというところを白紙にし、令和3年4月から役場の中で1から作っていくこととなった。その後、建設検討委員会を開催し、委員の皆様からのお力をお借りして今日を迎えられていることに感謝したい。</p> <p>令和4年4月からは実施設計に進んでいくが、今後の情報提供については、子ども・子育て会議へ引継ぎ、委員の皆様へ情報提供することにより、引き続き見守っていただきたいと思っている。新しい子どもセンターの建設後においても、町の子育て施策について私どもにご指導ご鞭撻をお願いしたい。</p> <p>2. 座長挨拶</p> <p>昨年就任させていただき、ずっと遠隔で札幌から会議に出席させていただいていたが、画面の外から見ていると皆様のお顔が全然見えないという状況で、議事を進行させていただいており申し訳なかった。</p> <p>本日は最後の建設検討委員会ということで、札幌ではこの週末の突風と降雪で、今日来れるか天気を心配しながら来たが、こうして天気になったので、新子どもセンターも良い形で進んでいくのではという兆しを感じながら出席させていただいている。委員の皆様から多くのご意見をいただきながら、会議を進めることができたが、再度、様々なご意見をいただきながら、意に沿った形の子どもセンターになるように、進めていきたいので、本日もよろしくをお願いしたい。</p>		

3. 議題（進行：座長）

(1) 基本設計について

①第7回建設検討委員会質疑応答

資料1に基づき、事務局より説明。委員からの意見等なし。

②基本設計書（概要版）について

資料2に基づき、事務局より説明。

質疑応答

委員 5ページの南側の左側に大きな窓があるように見えるが、これは機械室についてるということによろしいか。

事務局 機械室についている出入口になっている。窓ではない。

委員 1ページの設計基本方針の1番のところで、「ゾーニング計画」という表現があり、これはどういった意味か。

この基本設計書についてはどこかへ出すのか。というのも、執務スペースと執務エリアと事務スペースという同じ意味の言葉は統一した方が良いのではないか。

建物の名称は「子どもセンター」ということでいくのか。児童館もあるので、その辺りをお聞きしたい。

保健福祉総合センター「かみん」のように愛称について今後どうしていくのか計画があれば教えていただきたい。個人的には図書館も「フレンド」という愛称がついており、そういった流れで愛称をつけると愛着も沸くのではないかと思う。

事務局 「ゾーニング」というのは平面計画の中で色分けされていたかと思うが、その機能的なところでゾーンを分けているという意味である。

設計書の言葉の表現については統一した方がよろしいかと考えているので、その辺りは今後、修正をしていきたい。

子どもセンターの名称については、「上富良野町子どもセンター」という名称でいくよう計画しているが、愛称については、今後また皆様に考えて応募していただくよう考えている。

基本設計書については、完成後に議会等にもお配りするような形はとっていきたいと考えている。

委員 記録に残していただきたいということで発言をお許しいただきたい。

まず、前面道路の北3条仲通りについて、入ってくる入口側として、頻繁に使われる道路だが幅7mしかない道である。特に冬季間

内 容

内 容

の除雪は、町として時間を合わせて取り組んでいかないと、行き来を含めて通行される方々が不安になる道であると考えている。道路幅をとれると一番良いが、簡単な話ではないので。

床暖房を温水ボイラーにしようということで、これは非常に安定した床暖房が期待できると思い、良かったと思っている。今回の資料に床暖の対応部分が出てきていない。委員も意見を出してきたので、変更にはならないかもしれないが、今後ここの範囲が床暖であるという資料等が、目に触れたらありがたい。

5ページの外部仕上材について、ガルバリウム鋼板を採用する予定であるのは良かったと思っている。上富良野小学校も使っており、同じような構造になると思うが、小学校は建ててすぐに、屋根から水漏れがあった。無落雪だが、耐水というかシートが弱かったようで、その辺りを配慮した作りをされた方が、長く使う建物として大事だと思っている。

6ページについて、「熱貫流率の低い断熱材を採用し」と記載してあるが、もし予算が許すのであれば、断熱材は豊富に使った方が将来的には良いかと思う。基準値ギリギリだと、悪くはないがそこそこかなというようにも感じる。その辺りはプロでないので、分からないこともあるが、今まで入ってきた校舎の感覚として、断熱材は大事だと感じている。

省エネルギーに合わせて自然換気を謳っているが、断熱がしっかりしていて、空調が整っていると自然換気を入れない方が温かくしたり、涼しくしたりというのには適しているのではないかと個人的に思っている。にも拘らず自然換気を積極的に取り入れたいとするなら、どういう冷暖房を考えているのか教えていただきたいと思う。

事務局 北3条仲通りの幅が7mしかないというお話で、冬期間の大雪に対する除雪体制については、利用者が不便とならないように対策していきたいと考えている。

床暖房の範囲については、後日、お送りするような形をとらせていただきたいと思う。

外壁に関しては、ガルバリウム鋼板という材料を採用する計画としており、屋上については屋上防水の施工をする計画となっている。屋上防水も種別やグレード等もあり、細かい部分に関しては実施設計の中で、リスクや費用対効果を含めて検討していく形をとらせていただきたいと考えている。

省エネルギーの手法については、高断熱の断熱材を使用するというので、断熱材に費用をかけるのか、ランニングコストにお金をかけるのかというところで、それに反比例するような形で、費用もかかっているため、メリットとデメリットを検証しながら、建物仕様の方を更に細かく決定していくような形で、実施設計を進めさせていきたいと考えている。考え方としては、建てる際の費用とランニングコストの合計が一番安価になる組み合わせで建物への負担が少ないよう進めさせていきたいと考えている。

内 容

自然換気について、真夏は炊きっぱなしで安定した居室の環境を整えるという形で考えており、温熱効果で自然通風する時は急激な春夏の日差しが強い日だとかそういった時に、緊急的に排煙窓を開ける等して、空調負荷の低減を目指すような形で計画をしている。

委員 排水については、上富良野小学校も参考にさせていただいたら大変ありがたいと思う。

自然換気について、排煙窓を活用するというお話が出たが、排煙窓での換気は、効率的にどうなのかというのが一つと、もう一つは、おそらく手動になるのではないかとということである。排煙窓は窓ではなく、あくまで排煙するものだというスタンスで、換気を促す窓としての活用としてはいかがなものかということが、使ってるもの実感としてある。うちも窓がないので、排煙窓を開けて換気をするが、非常に手間暇がかかり、使うものとしては使い勝手は良くないなと思っている。自動にすることも経費をかければ可能かと思うが、自動にするとトラブルになったときの修理費用がすごい高くつく。自動にすれば良いというのもまた難しいところで、自然換気を大きく前面に出してしまうことは、少しいかがかという使ってきた者としての思いがある。

町長もいらっしゃっているので、ぜひお願いしたいが、平屋建てで、高さにとって採光するという設計になっている。そのような構造だと、特に厳寒期に朝から来る子どもたちが快適に過ごすためには、最悪 24 時間運転をせざるを得ないのが、こういう建物の暖房ではないかというのは、使ってきた者として感覚がある。そうすると、当初予定の光熱費よりも、どうしても実際使うと高くなるのが常なので、一定程度の上乗せについては、当初から見通しを持って、利用者が快適に過ごせる建物であってほしいと思っている。

(2) その他

委員から感想等を一言ずつお願いした。

委員 建設検討委員会に関わるととても感謝している。最初に話しましたが、勤務経験として引越した学校のうち新築を 5 校通い、様々な事を経験してきた。今の上富良野小学校も比較的新しいが、入った当初は、トラブルで予定通りにいかない。お金かけて修繕、修繕で、子どもがいるので土日に出勤が 1 年ぐらい続くような経験してきたので、建築には素人ながら、建物も学校ではないが、うちの町の建物が少しでも安く、長く、使い勝手が良いようになれば思いお話ししてきた。聞きづらいところもあって、ご迷惑をおかけしたかと思うが、お互い建物を良くしたいという思いだということでお許しいただければと思う。

委員 今回の委員会に出席させていただき感謝する。本当に意見を聞いていただきながら建物が造られていくことに驚きながら毎回参加してた。新しい建物が完成するのが、今からとても楽しみである。

内 容	<p>委員        今回の委員会に関わられて感謝している。専門知識が一切なく、意見を出したのが保護者目線での希望、要望言うくらいしかできていなかったが、これから2年後の完成を楽しみにしたい。</p>
	<p>委員        参加させていただき感謝する。月2回の時は、すごく大変だった時もあったが、新しい建物に関われることはもう二度とないのかなと思うので、いい経験になったと思う。</p>
	<p>委員        この基本設計に携わらせていただき、ありがたいと思っている。上富良野町にとって素晴らしい複合施設で様々な部分で、特色が実施設計の中でたくさん盛り込んでいただき、素晴らしい他市町村にないような施設になっていただければなと願っている。建設費用に勝る施設であれば良いなと思っている。</p>
	<p>委員        この委員会に参加させていただき感謝したい。保育業務もありまして、欠席率が高かったが、様々な皆さんのご意見を聞いたりとか、わかば愛育園も東児童館に近いので、2年間お散歩しながら、音を聞きながら、お話ししながら楽しみに待っていたと思う。</p>
	<p>委員        事務所を置かせていただいているものとして、また利用させていただいたものとして、委員会に参加させていただいて、関わられてとても光栄だった。</p> <p>今まさに、子どもセンターは引っ越し準備中であり、発達支援や子育て支援の方はとても毎日忙しくしているのを目の当たりにしている。その中で子どもたちの声が聞こえないということが1ヶ月続くのでどのようなになるのかと思っていたところ、この委員会の委員で団体の代表者でもある方について、ご自身もお子さんを子育て中で、この1ヶ月、居場所を失ってしまった町内のお子さん、親御さんに公共施設を手配し、時間とってその場において、遊びに来てもらえるような日を、週1回で3日ほど計画してくださっている。それを周知するのに子どもサポートふらのにお願いできないかということで先日ご案内させていただいたところである。当事者のお母さんたちが、自分たちで動いてやっていくということを地域の中で進めていってしゃるなっていうことを皆さんに知っていただきたく共有させていただいた。これから建物がどのようなになっていくのか楽しみである。</p>
	<p>委員        個人的に子どもセンターを子育て中に利用したことがなかった。現センターの建物自体は築50年ということで、私たちが子どもの頃からあったことが分かった。これから建てられる建物が50年後には今の遊んでいる子どもたちが、今度はこの委員会に参加して、また新しいものを計画されると思うと、わくわくが止まらない。なので、新しい子どもセンターを大切に使うよう子どもや孫たちに話していきたいし、建物が出来た経緯も話してあげたいと思う。</p>

内 容	<p>委員      この会議に参加させていただき感謝したい。業務の都合で数多く出席できなかったが、委員や管理側の意見を取り入れていただき、非常に良い計画ができたのではないかと考えている。この計画への熱量を次の実施設計に繋げていただいて、建ててよし、使ってよしの施設になることを期待している。</p> <p>委員      子どもセンターは、我が子も0歳の時からたくさん利用してきたので、移転するとなってこれは大変だと張り切って参加させていただいたが、会議が始まって専門用語が難しかったり、すごい責任を感じたりしてきた。緊張感もあったが、再来年オープンした時には、実際利用した親子がどのようなリアクションをするかが今は楽しみであるので、良い時間を過ごせたと思っている。うちは年齢的にも、地域的に中々行くことはないかと思うが、子育てに関わるような性教育を伝える活動してるので、それを理由にたくさん出入りさせていただき、施設を堪能したいなというのと、小さな夢として将来孫を連れていくことを楽しみに過ごしていきたい。</p> <p>委員      とても貴重な時間を経験させていただいたことがすごく良かったので感謝したい。子育てをしている親からの目線だけではなく、多種多様な考え方や必要性和方向性も見えて、とても勉強になった時間であったし、新しいものが建つのに合わせて、移住者とか転勤してくる人たちの子育て世代に対する福祉や子育てに関する補助や様々な制度も見直しされていって子どもを呼び込めるような施設にしていけたらと思うので、今後を楽しみにしている。</p> <p>委員      すごく貴重な経験になったと思っている。様々なことですごく勉強になったこと感謝したい。現子どもセンターを利用していたので、閉まってしまうことがとても寂しいと思っていたが、この会議で皆さんと一緒に考えさせていただき、今は新しい施設を楽しみにしている。子どもセンターの方は使う機会は中々ないかと思うが、児童館は子どもたちと利用していければと思っている。</p> <p>委員      遠隔での参加で上手く議事進行ができてたかどうかというところもあり、申し訳ないと思うこともあったが、副座長からはいつも新鮮なご意見をいただき、ご経験の中から貴重なご意見をいただけたと思う。委員の皆様方からも、実際に使ってどうかということで、とても貴重な意見をいただき、活発な会議を進行できたと思っている。都会的なところだと、他人事のような事も多く、こうした意見が出づらいこともあると思うが、上富良野町の皆様のパワーを感じながら、委員させていただいた。この会議を踏まえて、皆様が使いやすいセンターが建つということ楽しみにしているし、完成する頃にぜひ来たいなと思っているので、その時に皆様とお目にかかれたらと思う。</p>
-----	--

内 容	<p>町長 皆様の今のお話を聞き、良かったと思っている。基本設計の隅々まで皆様の思いがきっと入っていると思う。これから次の段階に入っていくが、除雪の問題や暖房費のことなど、その辺りを我々しっかりとやっていきたい。皆様が満足できるような施設を建てられるよう、2年後に向けて引き続きよろしくお願ひしたい。</p> <p>4. その他</p> <p>事務局 冒頭に町長の方から、この子どもセンター建設検討委員会は本日が最後ということで、ご挨拶を申し述べられた。ただし、このセンターは実施設計と工事ということで完成までに2年かかる。今後については、子ども・子育て会議の中で、進捗状況等については、皆様に情報共有をさせていただいたり、ご意見をいただく場面も設けていきたいと考えている。</p> <p>子ども・子育て会議がちょうど令和4年4月から改選期になるので、令和4、5年度の2年任期ということで新たにスタートすることから、次期委員にこの建設検討委員会を引き継ぎしていくということで確認をさせていただきたい。</p> <p>上記について、委員から承認されたことを確認した。</p> <p>事務局 町長から、今回建設検討委員会に関わっていただいた委員の皆様については、建物が完成した際には、いち早くご覧いただきたいということで、令和6年の2月には完成する予定なので、日程調整して、事務局からご案内させていただきたい。その時には、わくわく、ドキドキしながら楽しみにしていただき、そこで様々なご意見や感想をお聞かせていただければと思っているので、何卒よろしくお願ひしたい。</p>
-----	---